

ご参加くださ～い!

CAN会員の
みなさんから
届いた
イベント情報です

愛知サマーセミナー2018 CAN 講座

あれから7年、東日本の今は...?

日時 / 7月15日(日)

1限(9時30分～10時50分)

2限(11時10分～12時30分)

場所 / 椋山女学園大学 教育学部棟

(地下鉄東山線「星ヶ丘」下車、6番出口より徒歩5分)

講座内容 /

1限(講座番号 E111)

今年4月下旬、津波被災地の気仙沼市(宮城県)、浪江町請戸(福島県)を訪ねて、見て、聞いて、肌で感じ、考えたことを、一人でも多くの人に伝えたい!(講師 CAN 外山孝司)

2限(講座番号 F317)

今年4月下旬、福島第一原発20km圏内を訪ねて、見て、聞いて、肌で感じ、考えたことを、一人でも多くの人に伝えたい!(講師 CAN 大村昌宏)

参加費 / 無料

定員 / なし

中部の環境を考える会

第37回総会記念シンポジウム

メガソーラー開発問題とは何か

猛威を振るう開発資本主義

福島第一原発事故後、我が国においてもクリーンな再生可能エネルギーへの転換が推し進められてきた。世界的にも脱炭素後の主役として風力や太陽光発電がシェアを拡大し続けている。

他方、我が国においては、メガソーラー発電所の建設のために、大規模な森林伐採が公然と行われているのが現状である。環境に優しいはずの太陽光発電が、貴重な自然を破壊するという本末転倒ともいえる状況を踏まえ、私たちはどのようにメガソーラー問題に向き合うべきなのかについて考えていきます。ふるってご参加ください。

日時 / 7月22日(日)

14時00分～17時00分

場所 / 中部大学名古屋キャンパス 大ホール

(JR中央線「鶴舞」北口すぐ)

記念シンポジウム

1 基調報告「メガソーラーの現状と課題」

講師 籠橋隆明さん(弁護士)

2 各地の事例報告(東浦町、四日市市ほか)

3 意見交換

参加費 / 入場無料(資料代500円)

参加自由

原発ゼロ社会への道 連続講座2018<第1回>

加速する原発事故の風化政策と

東電元幹部の刑事訴訟のゆくえ

2020年東京オリンピックに向けて、福島原発事故の被害が「復興」の名の下に「なかったこと」にされようとしています。年間20ミリシーベルトという過酷な基準を据え置き、それを下回った地域の避難指示を解除し、期間を即す施策を次々と打ち出す福島県と復興庁。事故の被害は大したことはない、放射能も恐れる必要はないというリスク・コミュニケーションに力を入れ、被ばくへの恐れを風評被害をあおるものとして切り捨てています。しかし、戻った人も、戻らない人も、避難しなかった人も、元の生活を取り戻すことはできていません。

日時 / 7月7日(土)

13時30分～16時45分

(開場 13時10分)

場所 / ソーネ大曽根(ホール)

JR/地下鉄/名鉄瀬戸線「大曽根」駅下車

北西へ900m

名古屋市北区山田長2-11-62

TEL 052-910-1001(代表)

講師 / 武藤 類子 さん

福島原発告訴団 団長/原子力市民委員会アドバイザー

参加費 / 700円(原発事故避難者&学生は無料)

共催 / 原子力市民委員会

<http://www.ccnejapan.com/>

未来につなげる東海ネット

<http://tokainet.wordpress.com/>

消費者行動ネットワークのURLが変わりました。よろしく!

<http://www.can-syohisya.org/>